



携帯電話用
QRコード

- 主な内容
- 2面 サマースクールin日大三が開催されました
小学校給食調理業務委託を導入します
 - 3面 わがまち学校たんけん隊!
 - 4面 絵図でみる町田 -Part3-
尾辻克彦×赤瀬川原平 -文学と美術の多面体-展

発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

町田っ子の学力向上に向けて取り組んでいます!

すべての子どもの学びを支える～「できる」、「わかる」授業のために～

全国学力・学習状況調査の結果、町田市の子どもは、基礎・基本的な問題の正答率が高く、**基礎・基本＝「できる学力」**については概ね定着している一方で、活用・応用問題について正答率が低いことがわかりました。町田市立小・中学校では、活用・応用問題を解答するのに必要な**思考力・判断力・表現力＝「わかる学力」**を高める授業に取り組み、「できる学力」と「わかる学力」をバランスよく身に付けた子どもの育成に取り組んでいます。

できる学力
基礎・基本

わかる学力
思考力
判断力
表現力



「できる学力」と「わかる学力」をバランスよく身に付けることが学力向上のカギなのじゃ!

問い合わせ 指導課 ☎724・2154

町田っ子の今

- 1 問題の解き方を覚え
ドリル学習・テスト勉強を頑張ってきた
- 2 基礎・基本はできるようになってきた
- 3 自分の考えをまとめて表現したりいくつかの考えを結び付けて考え問題を解いたりすることが苦手
- 4 新たな山を目指して取り組みます

町田市の挑戦!

挑戦1
「わかる学力」向上のための授業に取り組みます!

子どもたちが互いの思いや考えについて話し合い、多様な考えに気付くような授業を行うことによって、思考力・判断力・表現力＝「わかる学力」を高めます。現在、小・中学校合わせて4校で「わかる学力」を高めるための取組として「協同的探究学習」を実践しています。今後はこの4校で取り組んだ成果を小・中学校全校に広めていきます。



授業での発表

問題を解いたときに自分がどのように考えたかをみんなに説明します。

「わかる学力」を高める授業のポイント

- 1 自分の思いや考えをもち、説明できるようにします
自分の知識や経験を生かして問題に取り組む時間を大切にします。解き方をノートに書いたり、発表したりして、考えを深めていきます。
- 2 友達との話し合いを通して、考えを広げます
話し合いを通して、多様な考え方があることを理解し、似ている解き方はどれとどれかなど、自分の考えと周りの子の考えを関連付けて考える力を身に付けていきます。
- 3 学習内容を定着させ、理解を深めます
多様な考え方の中から自分がよいと思ったものを選択したり、複数の考え方を統合して新しい考え方を見付けたりして、もう1問新しい問題に取り組みます。

自分自身の知識や他者の知識を利用しながら考えを構成していくことや、その思考プロセスを表現し他者と共有して理解を深めることが「協同的探究学習」です。

町田市学力向上推進委員会 顧問
東京大学大学院 藤村 宣之 教授

挑戦2
地域ごとに学力の課題解決に取り組みます!

全国学力・学習状況調査の結果では、地域ごとに異なる学力上の課題があることもわかりました。町田市では、地域ごとの課題を解決するために、小・中学校全校を20地区に分けて、地区ごとに小・中学校が連携して学力向上に向けた取組を実施しています。これらの地区のうち、5地区を「学力向上モデル地区」とし、民間教育機関と連携して学力調査を行い、調査結果から分かった課題を解決するための取組を実施しています。このモデル地区の取組を参考に、今後は、他の地区の取組を充実させていきます。

目指す町田っ子の姿

- ま** 周りの子の考えと自分の考えを関連付けられる
- ち** 知識や経験を生かして問題に取り組める
- だ** 誰にでも分かるように説明できる



学力向上モデル地区の取組例

放課後などの時間に保護者・学校支援地域理事からなる学習ボランティアが補習教室を行っています。

家庭でもできる「わかる学力」の伸ばし方

- 学校のこと、友達のことを話題にして、お子さんと会話しましょう。
日常会話を通して、お子さんの表現力を伸ばしましょう。「どうして?」「詳しく教えて」と、よい聞き手になって対応してください。
- 読書に親しませ、考える力を育てましょう。
読書は、思考や表現の語彙を増やし、考えを広げ深めます。お子さんと一緒に図書館や書店に出かけ、一緒に本を選んでみるのもいいでしょう。
- テレビを見る時間、ゲームで遊ぶ時間、携帯電話を使う時間を決めましょう。
充実した生活を送るために、計画的な時間の使い方を身に付けさせましょう。
- お子さんのよい点を1日1つ見付けてほめてあげましょう。
認められる喜びを味わっている子どもは、自分に自信をもつことができます。お子さんが自分の考えを話せたとき、約束を守ったとき、ほめてあげてください。家族からのほめ言葉が、1番の活力剤になります。

学力向上に関するイベントの情報は2面をご覧ください。